

東北ハイテク研究会セミナー



スマート農業技術をもっと身近に

：低コスト簡便スモール・スマート農業技術を知る

第3弾 AI を身近で活用する時代が来た

セミナー開催の狙い

現在、ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用した「スマート農業」による日本農業のイノベーションを目指して農林水産省が旗を振り、全国各地でスマート農業加速化実証プロジェクトが実施されています。この事業は、さまざまなスマート農業技術を実際に生産現場に導入し、2年間にわたって技術実証を行い、その経営効果を評価するという意欲的なものです。令和元年度から事業が開始され、現在、全国179地区において実証が行われ、さまざまな効果や課題が確認されています。

しかしながら、スマート農業技術の多くは、その導入に多額の費用がかかり、個々の農家レベルでの導入における経済的なハードルが高い点にあります。また、その効果についても、果たして導入費用を上回る経済的な効果を確保できるか不確定である点です。

そのため、多くの農家から安価で利用が簡単で確実な効果が得られるスマート農業技術の開発を期待する声が多く寄せられています。そうした農家の切実な声に応えることを目指して、セミナー「スマート農業技術をもっと身近に：低コスト簡便スモール・スマート農業技術を知る 第3弾 AI を身近で活用する時代が来た」を企画しました。AIの応用領域は加速度的に拡大しており、だれでも身近に使える時代が近づいています。

そこで本セミナーでは、農業分野におけるAIの活用場面を紹介するセミナーを企画しました。このセミナーで紹介するのは、ほんの一部の技術であり、まだまだ多くの技術が眠っていると思われるので、今後時間をかけて開発状況を把握して紹介していきたいと思えます。

今回のセミナーにつきましては、全国の多くの方々にスモール・スマート技術を知ってもらうことを目指してOnlineで実施することとしました。

多くの皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。

開催日等

日時：令和4年2月17日（木） 13：30～16：15

開催場所：オンライン開催（Zoom(ウェビナー)によるライブ配信）

参加費：無料

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

<セミナープログラム>

主催者挨拶（東北ハイテク研究会事務局長 門間敏幸）	13:30~13:35
第1報告 AIで地域農業の将来動向を予測する 農研機構 本部 企画戦略本部 農業経営戦略部 営農支援ユニット 寺谷 諒 氏	13:35~14:05
第2報告 AI利用による植物病害防除 農研機構 植物防疫研究部門 作物病虫害防除研究領域 吉田 重信 氏	14:05~14:35
第3報告 ドローン・AIを活用したICT 鳥獣被害対策 株式会社スカイシーカー 取締役 平井 優次 氏	14:35~15:05
休憩	
第4報告 AIを活用した鶏の個体管理技術 山形大学農学部 連携研究員 兼 株式会社 ViAR&E（ピアアンドイー） 代表取締役 市浦 茂 氏	15:15~15:45
質疑討論	15:45~16:15

申込方法等

・当日までに、下記の申込フォーム（URL）からお申し込みください。

URL：https://zoom.us/webinar/register/WN_U27G3z_wSci_uDiRtcbcVg

※ お申し込みの方への登録完了メールは、申込フォームにご記入の「名」宛てで返信されます。
これは、Zoom ウェビナーの設定上のことですのでご理解願います。

問い合わせ先

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局（藤井）

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター内

TEL：080-2806-9926

E-mail：tohoku-hightech@@kej.biglobe.ne.jp（ご使用時は、@を1ヶ削除願います。）

・本セミナーは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われるものです。